令和3年度 第11回理事会

日 時：令和4年2月4日（金）15：30～

場 所：森林総合研究所特別会議室（つくば市）、テレビ会議

I. 報 告

1. （国研）森林研究・整備機構における新型コロナウイルス感染症対策について
2. 森林総合研究所における一般職員（高卒程度）の採用について（非公表）
3. 森林総合研究所における一般職員（大卒程度）の採用について（非公表）
4. 令和3年度早期退職者の認定状況について
5. 林木育種センターにおける一般職員（大卒程度）の採用について（非公表）

II. その他

1. 今後の行事予定について
2. 主要行事
3. 令和4年1月に森林総合研究所が広報した研究成果

理事会資料
令和4年2月4日

(国研) 森林研究・整備機構
新型コロナウイルス感染症対策実行本部

(国研) 森林研究・整備機構における新型コロナウイルス感染症対策について

実行本部設置後、下記のと通りの対策を講じている。

記

- 令和2年2月26日 **新型コロナウイルス感染症対策実行本部を設置**
 - ・新型コロナウイルスの感染の拡大を受け、国立研究開発法人森林研究・整備機構地震等緊急災害対策本部設置要領第2条の規定に基づき、国立研究開発法人森林研究・整備機構地震等緊急災害対策本部（機構対策本部）を設置し、その下に新型コロナウイルス感染症対策実行本部（実行本部）を設置。

- 令和2年2月27日 **「新型コロナウイルスに係る感染予防対策について」を発出**
 - ・予防措置の徹底、感染の疑いがある場合の自宅待機、出張及び会議・イベント開催・出席の制限、時差出勤の推進、感染した場合の報告等について周知。

- 令和2年3月2日 **「新型コロナウイルス感染症拡大防止において出勤することが著しく困難であると認められる場合の休暇の取扱いについて」を発出**
 - ・学校等の臨時休業要請を踏まえ、出勤することが著しく困難であると認められる場合に特別休暇（出勤困難休暇）を適用することを周知。

- 令和2年3月24日 **「新型コロナウイルスに係る感染予防対策及び特別休暇の取扱いについて」を発出**
 - ・令和2年2月27日及び3月2日発出の取扱いについて、4月末日まで延長することを周知。

- 令和2年3月31日 **「新型コロナウイルス感染症患者（PCR検査の結果「陽性」）が発生した場合の対応マニュアル」を策定**

- ・感染症患者が発生した場合のプレスリリース対応について、手順や確認事項等をマニュアル化。

○令和2年4月8日～4月9日

- ・緊急事態宣言を受け、機構として業務・事業を継続するための体制を決定し、逐次実施。

○令和2年4月17日 「新型コロナウイルス感染症に係る感染予防対策への協力をお願いー緊急事態宣言の対象が全国となったことを受けてー」を発出

- ・緊急事態宣言の対象が全国となったことを受けて、令和2年2月27日発出の予防措置の徹底等を周知のほか、休日も含めた外出の自粛、家族を含めた健康管理等の徹底を依頼。

○令和2年4月24日 「新型コロナウイルスに係る感染予防対策について（更新）」を発出

- ・令和2年2月27日発出及び3月2日発出の取扱いについて、当分の間、実施することを周知。

○令和2年5月13日 「新型コロナウイルスに係る感染予防対策について」の変更を発出

- ・帰国者・接触者相談センターへ相談する際の「症状の目安」が変更となったことを周知。

○令和2年5月27日 「新型コロナウイルス感染症に係る感染予防対策への協力をお願いー緊急事態宣言が全国で解除となったことを受けてー」を発出

- ・緊急事態宣言は5月25日に全国で解除されたが、令和2年2月27日発出の予防措置の継続を依頼。（現在、役職員は、ほぼ通常どおり勤務。）

○令和2年6月24日 「新型コロナウイルスに係る感染予防対策について（更新）」を発出

- ・都道府県による催物（イベント等）の開催や施設の使用制限の段階的な緩和を踏まえ、要件を満たす会議・イベントの開催、施設の使用が可能となることを周知。

○令和2年6月30日 「新型コロナウイルスに係る感染予防対策について」の変更を
発出

- ・国内移動の自粛要請の解除を受けて、国内出張及び外部開催の会議の出席について、十分な感染リスク軽減措置を講じれば、承諾が不要となること等を周知。

○令和2年8月28日 理事長メッセージ 「新型コロナウイルスに立ち向かう職場
を目指して」を発出

- ・多くの感染者確認を受け、安心して働ける職場を目指すことを訴えるとともに、この実現のための協力を呼びかける理事長メッセージを発出。

○令和2年9月4日 「新型コロナウイルス感染症患者（PCR 検査の結果「陽性」）が
発生した場合の対応マニュアル」（Ver. 2）」を発出

- ・感染症患者が発生した場合のプレスリリース対応について、個人情報保護等の観点から改正。

○令和2年11月16日 「地域状況に応じた新型コロナウイルス感染防止対策のお
願い」を発出

- ・地域状況に応じた感染防止対策を講じることを地方組織へ要請。

○令和2年11月16日 「新型コロナウイルスに係る感染予防対策について」変更を
発出

- ・感染疑いのある場合の相談先が、「帰国者・接触者相談センター」から「各都道府県が定める連絡先」となったことを受け、所用部分を改正。

○令和2年11月16日 「新型コロナウイルス感染症患者（PCR 検査の結果「陽性」）
が発生した場合の対応マニュアル」（Ver. 3）」を発出

- ・感染疑いのある場合の相談先が、「帰国者・接触者相談センター」から「各都道府県が定める連絡先」となったことを受け、所用部分を改正。

○令和3年1月8日

- ・緊急事態宣言を受け、機構として自宅勤務を可能な限り行うこと等を実施。

○令和3年2月1日 「新型コロナウイルス感染症患者（PCR 検査の結果「陽性」）が
発生した場合の対応マニュアル」（Ver. 4）」を発出

- ・感染症患者が発生した場合の公表方法について、Web サイト掲載を基本とすることに改正。

○令和3年6月21日 「国立研究開発法人森林研究・整備機構職員の在宅勤務規程」
を制定

- ・ワークライフバランスの実現とともに、新型コロナウイルス感染症拡大防止と業務継続の両立に資するため、在宅勤務制度を導入。

○令和3年8月3日 「新型コロナウイルス感染症に係る感染防止対策について
ー7月中旬以降の感染急拡大を受けてー」を発出

- ・7月中旬以降の感染急拡大を受けて、感染防止対策の徹底、在宅勤務の促進等を周知。

○令和3年10月1日 「新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言等の解除後
における取組について」を発出

- ・緊急事態宣言等は、9月30日をもって全国で解除されたが、令和2年2月27日発出の予防措置の実行とともに、在宅勤務を可能とする条件整備・工夫の継続を依頼。

○令和3年10月13日「新型コロナウイルスに係る感染予防対策について」の変更を
発出

- ・海外出張について、出張の妥当性を精査し、十分な感染リスク軽減措置を講じた上で再開することとした。

○令和3年10月22日「新型コロナウイルス感染症患者（PCR検査等の結果「陽性」）
が発生した場合の対応マニュアル」の変更を発出

- ・感染の有無を判断する検査としてPCR検査だけでなく抗原検査等を追加するための改正を実施。

○令和4年1月21日「新型コロナウイルス感染症に係る感染防止対策について
ー1月の感染急拡大を受けてー」を発出

- ・1月の感染急拡大を受けて、感染防止対策の徹底、在宅勤務の促進等を周知。

地域状況に応じた主な新型コロナウイルス感染防止対策（令和4年1月27日）

	所在地の発令等	主な感染防止対策の内容
研究所（つくば）	まん延防止等重点措置 （茨城県）	①在宅勤務が可能 ②チーム毎の分離勤務 ③出張やイベントの自粛 ④時差出勤を活用した混雑回避
北海道支所	まん延防止等重点措置 （北海道）	①在宅勤務が可能 ②北海道地域研究成果発表会のホームページ及びウェブ開催 （R4.2.14～）
東北支所	岩手緊急事態宣言 （岩手県独自）	①在宅勤務が可能 ②2月中旬までに予定されている県外への出張については、オンライン会議等への変更又は日程の変更の可否について、再度検討 ③チーム毎の分離勤務
関西支所	まん延防止等重点措置 （京都府）	①在宅勤務が可能 ②チーム毎の分離勤務
四国支所	該当なし	①在宅勤務が可能 ②まん延防止等重点措置が実施された地域等への出張を自粛 ③まん延防止等重点措置が実施された地域からの来所の自粛を要請
九州支所	まん延防止等重点措置 （熊本県）	①在宅勤務が可能 ②チーム毎の分離勤務 ③公共交通機関を利用した出張、宿泊を伴う出張を自粛
多摩森林科学園	まん延防止等重点措置 （東京都）	①在宅勤務が可能 ②チーム毎の分離勤務 ③都外への不要不急の出張は原則禁止
林木育種センター 森林バイオ研究センター	まん延防止等重点措置 （茨城県）	①在宅勤務が可能 ②チーム毎の分離勤務 ③公共交通機関利用者の時差出勤
北海道育種場	まん延防止等重点措置 （北海道）	①在宅勤務が可能 ②公共交通機関利用者の時差出勤 ③札幌市への出張等を原則自粛 ④札幌市以外の地域への出張等の際は、相手方の意向を確認し、状況によっては取りやめ又は延期も検討
東北育種場	岩手緊急事態宣言 （岩手県独自）	①在宅勤務が可能 ②チーム毎の分離勤務 ③公共交通機関を利用した出張、宿泊を伴う出張を自粛
関西育種場	まん延防止等重点措置 （岡山県）	①在宅勤務が可能 ②チーム毎の分離勤務 ③出張の自粛、車両分乗
九州育種場	まん延防止等重点措置 （熊本県）	①在宅勤務が可能 ②出張する場合には、他機関の職員との接触を控え十分な感染リスク軽減措置を講じた上で実施
森林整備センター	まん延防止等重点措置	①重点措置区域等 広島及び山口の各水源林整備事務所（1/9から2/20）、整備センター（川崎）並びに関東及び中部の各整備局、前橋、新潟、岐阜、津、熊本、宮崎の各水源林整備事務所、長崎駐在（1/21から2/13）、近畿北陸、中国四国及び九州の各整備局、北海道、青森、山形、福島、宇都宮、静岡、長野、神戸、金沢、松江、佐賀、大分、鹿児島島の各水源林整備事務所、帯広駐在（1/27から2/20）・・・時差出勤、休日振替出勤、在宅勤務、年休取得等の奨励等により可能な限り執務室内の疎化に取り組む。
森林保険センター	まん延防止等重点措置 （神奈川県）	①在宅勤務が可能 ②時差出勤及び年休取得を奨励 ③予定していた出張を延期・再調整 ④予定していた集合講習をオンライン講習に変更

※上記以外にも「新型コロナウイルスに係る感染予防対策について」（森林研究・整備機構新型コロナウイルス感染症対策実行本部）に基づき感染予防を実施。

令和3年度早期退職者の認定状況について

組織の年齢別人員構成を適正化し組織の活性化を図るため、森林総合研究所等において早期退職者の募集を行い、下記のとおり認定したので報告する。

記

組 織 名	募集人数	応募者数	認定者数	備 考
森林総合研究所等	4名程度	4名	4名	

今後の行事予定について

日付	研究	整備	保険	行事名等	場所等
1月18日～ 2月15日	○	○	○	WOODコレクション（モクコレ）2022	オンライン
2月7日	○			令和3年度 岩手県林業技術センター・森林総合研究所東北支所・林木育種センター東北育種場 合同成果報告会	エスポワールいわて (盛岡市)
2月14日	○	○		北海道地域研究成果発表会	ホームページ及び動画配信 (YouTube)
2月17日	○	○		東北地域評議会	東北支所
2月18日	○			令和3年度林木育種成果発表会	林木育種センター (オンライン開催)
2月21日	○			森林総合研究所多摩森林科学園 創立百周年記念式典	多摩森林科学園 (オンライン開催)
2月22日	○	○		北海道地域評議会	北海道支所
2月22日	○			第3回育種運営会議	林木育種センター
2月22日	○	○		九州地域評議会	九州支所
2月24日	○			森林産業コミュニティ・ネットワーク (FICoN) 第3回ウェブ検討会	森林総合研究所 (オンライン開催)
2月24日			○	森林保険審査第三者委員会	森林保険センター
2月25日	○			関西地域評議会	関西支所
2月28日	○			近畿中国森林管理局との技術開発協議会	オンライン開催
2月28日	○			四国地域評議会	四国支所
3月1日			○	統合リスク管理委員会	森林保険センター
3月3日～ 3月4日	○			研究推進評価会議	
3月7日～ 3月18日	○			林野庁中央展示「森づくりを支える林木育種センターの成果」	林野庁
3月9日	○	○		東北国有林森林・林業技術協議会	東北森林管理局

3月11日	○	○	○	第12回理事会	森林総合研究所
3月11日	○	○		令和3年度九州森林技術開発協議会	九州支所

会議等については、新型コロナウイルス感染拡大状況により時期および開催手法が変更となる場合がある

主要行事(令和4年1月7日～令和4年2月3日)

月 日	行 事 内 容	出 席 者
1月7日(金)	【共】第10回理事会	理事長、各理事、森林保険センター所長、両監事
11日(火)	林野庁庁議	理事長
24日(月)	【保】保険運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、法令遵守担当理事、森林保険センター所長、両監事
〃	【整】事業運営会議	理事長、企画・総務・森林保険担当理事、森林業務担当理事、法令遵守担当理事、両監事
26日(水)	【研】森林国際支援セミナー(オンライン)	理事長、研究担当理事
27日(木)	【研】第2回国際連携推進委員会	研究担当理事
〃	【研】農林水産研究イノベーションシンポジウム(オンライン)	研究担当理事

※ 【研】:森林総合研究所、【育】:林木育種センター、【整】:森林整備センター、【保】:森林保険センター、【共】:共通の行事 の略

令和4年1月に森林総合研究所が広報した研究成果

番号	広報タイトル	研究者・担当者名	掲載誌名	論文公開時期	備考
1	およそ120年ぶりに一斉開花したハチクは種を作らなかつた	コバヤシ ケイト 小林 慧人 (関西支所)	Plant Species Biology	2021年10月	HP(研究成果)に掲載
2	マングローブ林の枯死した根は沿岸生態系の炭素貯留に貢献する	オノ ケンジ 小野 賢二 (立地環境研究領域)	Ecological Research、日本生態学会	2021年12月	HP(研究成果)に掲載
3	10mの空間解像度で全国の森林土壌炭素地図を作成した	ヤマシタ ナオユキ 山下 尚之 (立地環境研究領域)	Geoderma、406、115534	2021年10月	HP(研究成果)に掲載
4	人為攪乱で更新した絶滅危惧樹種ハナノキが教えてくれたこと	キクチ サトシ 菊地 賢 (北海道支所)	保全生態学研究 26 297-305、日本生態学会	2021年8月	HP(研究成果)に掲載
5	カンボジアの乾燥常緑林は上層と下層で二度葉を落とす	イトウ エリコ 伊藤 江利子 (北海道支所)	Cambodian Journal of Natural History、2021 (1) 21-39	2021.12.26	HP(研究成果)に掲載
6	大規模データベースを使ってスギとヒノキの様々な生理的能力を明らかにした	ハンモト ショウジ 橋本 昌司 (立地環境研究領域)	PLOS ONE、16(1)、e0254599	2021年11月	HP(研究成果)に掲載
7	スギ非赤枯性溝腐病菌の分布は温度特性で決まる	トリイ マサト 鳥居 正人 (きのこ・森林微生物研究領域)	Forests、12(11)、1580	2021年11月	HP(研究成果)に掲載
8	木材パルプの製造排液から新しい繊維原料をつくりだす	スズキ ユウゾウ 鈴木 悠造 (森林資源化学研究領域)	Bioresource Technology、337:125489	2021年10月	HP(研究成果)に掲載
9	コナラ当年枝の放射性セシウム季節変動を解明 ーコナラのセシウム濃度の調査可能期間が従来の約2倍にー	サカシタ アユム 坂下 涉 (震災復興・放射性物質研究拠点)	Ecological Indicators 133 巻108361	2021年12月	HP(プレスリリース)に掲載
10	キンカメムシのユニークな求愛ダンスを明らかに ー多様な感覚によるコミュニケーションの進化の謎に迫るー	ムカイ ヒロミ 向井裕美 (森林昆虫研究領域)	Ecology、2022年1月21日 オンライン公開 (https://doi.org/10.1002/ecy.3632)	2022年1月27日 (木) 10時00分	HP(プレスリリース)に掲載
11	性染色体の遺伝解析で追う雄ジカ達の歴史 ー新開発の遺伝マーカーによって雄の種内系統とその分布形成過程を解明へー	ナガタ ジュンコ 永田 純子 (野生動物研究領域)	Population Ecology(個体群生態学会 国際誌)	2022年1月26日 (水) 12時00分	HP(プレスリリース)に掲載
12	振動による害虫防除と栽培へのダブル効果！ ー化学農業に依存しない新たな技術の実用化へー	タカハシ タクマ 高梨琢磨 (東北支所)	発明の名称:振動による害虫防除及び作物受粉の方法特許第6991488号(2021年12月10日取得)	1月31日(月)10時00分	HP(プレスリリース)に掲載

(トピック)

番号	名称	担当	主催等	開催場所	開催日	備考
1	SATテクノロジー・ショーケース2022に出展します	研究管理科	つくばサイエンス・アカデミー(一般財団法人茨城県科学技術振興財団) SATテクノロジー・ショーケース2022実行委員会	オンライン	2022年1月27日 (木曜日)	HP(イベント)に掲載
2	森林産業コミュニティ・ネットワーク(FICoN)第3回ウェブ検討会「持続的循環を支える林業システム・イノベーションへの期待～育苗から保育まで、科学的見地に基づく技術の最前線～」	森林総合研究所 FICoN事務局	森林総合研究所	Microsoft Teamsによるウェブ形式	2022年2月24日 (木曜日) 14時00分～16時45分	HP(イベント)に掲載
3	令和3年度国際セミナー「森林で沿岸域を守るー防災・減災技術の開発に向けてー」	REDDプラス・海外森林防災研究開発センター	森林総合研究所	オンライン参加形式	2022年1月26日 (水曜日) 14時00分～16時30分	HP(イベント)に掲載
4	WOODコレクション(モクコレ)2022「未来へ繋ぐ、国産材の無限の可能性」に出展します	広報普及科	東京都	オンライン展示会	2022年1月18日～2月15日	HP(イベント)に掲載